

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名 野の花(第3単位)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			感染予防のため、適切なスペースで活動できるように配慮した。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置数は、法律に定めた基本配置に加えて加配職員を配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			館内は、階段の滑り止め、手すり等が整備されています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			1~3期で目標を設定し振り返りを行った。また、毎週クラス会議で目標を設定し振り返った。	目標に対しての実行を、クラスで確実にこなすようにしていきます。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査で、保護者の困り感、要望を理解し、クラスで話し合い、子どもへの療育に繋がっています。	アンケートをもとに、必要に応じて業務改善を行っていきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページに公表している。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部によるコンサルテーションを受けている。	コンサルテーションを受け、必要に応じて業務改善を行っていきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の毎月の朝研修、外部研修で、専門性を学んでいる。	積極的に研修に参加し、学び支援に反映していきます。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年2回 放課後等デイサービスの計画のための面談を行い、計画を作成している。	
適切な 支援の 提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの適応行動を図るため、CSP等のアセスメントツールを使用しています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週、クラス会議を行い、チームで話し合い活動を立案している。	チームで子ども達の成長につながる活動を立案を行っていきます。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節の行事を取り入れ、豆まき、クリスマス会、学習発表会、ハロウィン等を行っている。	季節行事以外にも、子どもが楽しんで取り組める活動を工夫していきます。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇は、学校の課題が終わるように計画表を作成し、平日も個別に細やかに学習支援をした。	長期休暇での学習課題を計画的に進めていきます。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じて、個別の時間を設定し、集団活動と合わせて、自立につながるよう計画した。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日の打ち合わせで、職員の役割分担、支援の重点内容を確認した。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、職員同士の打ち合わせと振り返りを確実に行った。	細かなことも大切にコミュニケーションをしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録必ずとって、反省点は翌日の支援で改善するように話し合った。	日々の記録を正確に記録し、支援の検証と改善に繋げていきます。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービスの見直しの必要性を判断した。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則に従って、学習活動を中心に複数組み合わせさせて支援を行った。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に、児童発達支援管理責任者が参加した。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			中学校・高校と年1～2回の情報交換会を行い、子どものトラブル発生時の対応も話し合った。	引き続き、学校との連携を行っていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			高校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童の、支援内容の情報を提供した。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内の児童発達支援センターと連携して、助言や研修を受けた。	これからも、児童発達支援センターと連携して、助言や研修を受けていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加した。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的に保護者と連絡を取り、共通理解を持てるように心掛けた。	日頃から、保護者との情報共有を大切にしています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			月一回、保護者のグループカウンセリングで、子どもと適切に関われるようにペアレント・トレーニング等を行った。	保護者の参加を促していきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明をした。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての悩み等に対する相談を随時傾聴し、必要な助言、支援等を行うようにした。	保護者とのコミュニケーションを大切に相談しやすい関係を築いていきます。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会の活動を支援し、保護者同士の連携が支援できるよう心掛けた。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情があった際は、迅速かつ適切に対応します。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、クラス便りで、活動概要や行事予定等を、子どもや保護者に対して発信した。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は、鍵付き書庫に保管し、十分に注意し管理しています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			クラスで連携し、子どもや保護者との意思疎通、情報伝達の為の配慮を行った。	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを策定しクラスに提示し、保護者や職員に周知した。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、地震、火災、水害いずれかの避難訓練を行った。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎週アンガーマネジメントの練習をクラスで行った。	アンガーマネジメントを練習し、助けを求めやすい職員の間関係を築いていきます。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーのマニュアルに基づいて対応した。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人全体で、ヒヤリハットの事例を共有し、安全に十分配慮するように努めた。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。